

新型「ハイゼット」「アトレー」

商品概要

ダイハツ工業株式会社

製品企画部 エグゼクティブチーフエンジニア

松本 隆之

INDEX

▶ 開発のねらい

▶ 商品概要

I 共通の進化（商用DNGA）

II 各車種の進化

1 新型ハイゼット カーゴ

2 新ハイゼットトラック

3 新型アトレー

4 ハイゼットベースの特装車



INDEX

▶ 開発のねらい

▶ 商品概要

I 共通の進化（商用DNGA）

II 各車種の進化

1 新型ハイゼット カーゴ

2 新ハイゼットトラック

3 新型アトレー

4 ハイゼットベースの特装車





- ハイゼット：「たくさん積めて、壊れない、お求めやすく、頼れる“働く相棒”」として進化
- アトレー：「4人乗っても荷物がたくさん積める 軽RVの先駆け」として誕生

ハイゼット カーゴ

1960年～



ハイゼットトラック

1960年～



アトレー※

1981年～

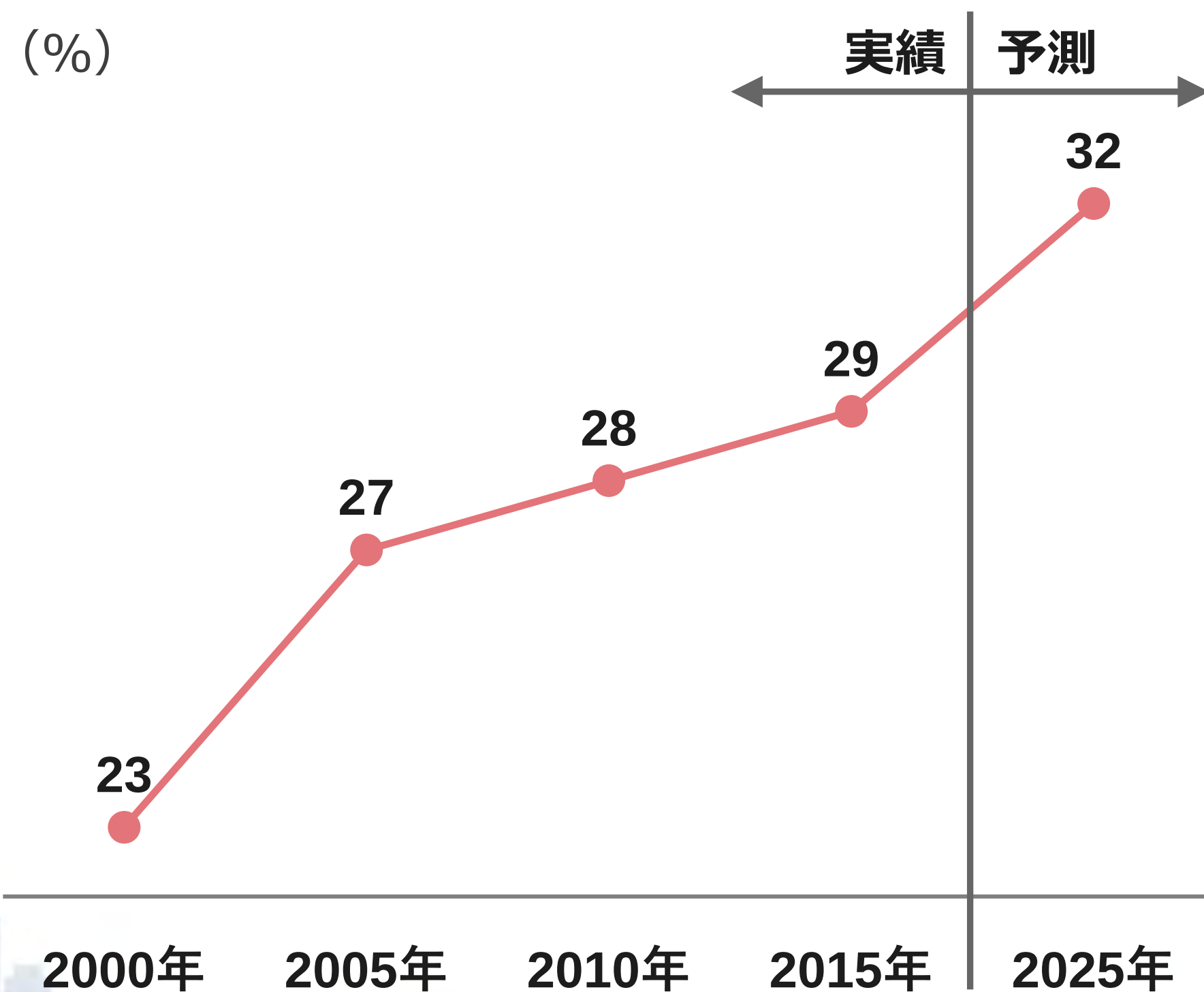


※1981年に「ハイゼットアトレー」として発売。1999年に「アトレーワゴン」を発売

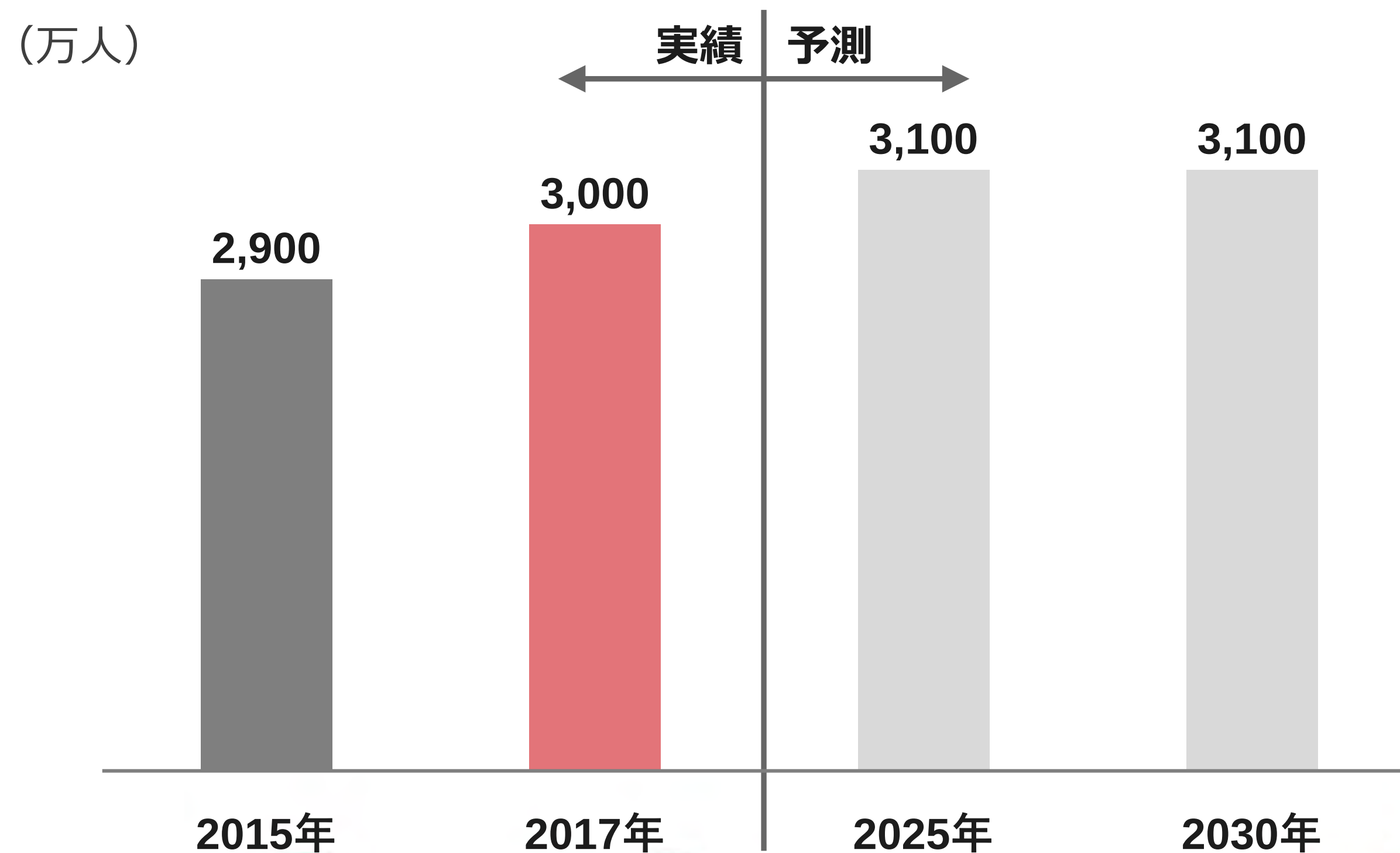


■女性やシニア、外国の方々など働き手が多様化

就業者高齢者比率



女性労働者人口推移



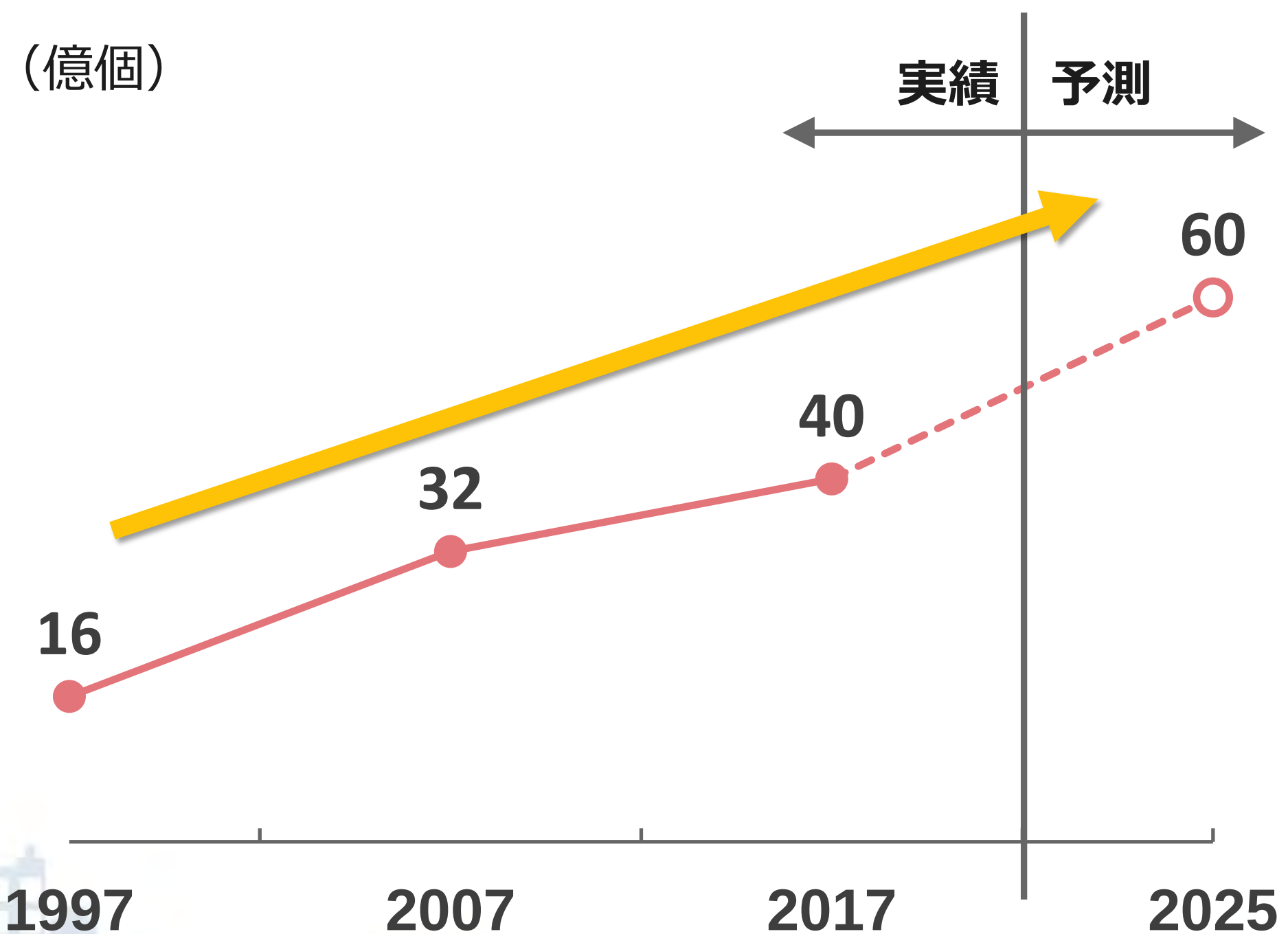
出典：三菱UFJリサーチ&コンサルティング
「労働力人口・労働投入量の予測」



■ 新型コロナの影響もあり、Eコマース需要が増加傾向

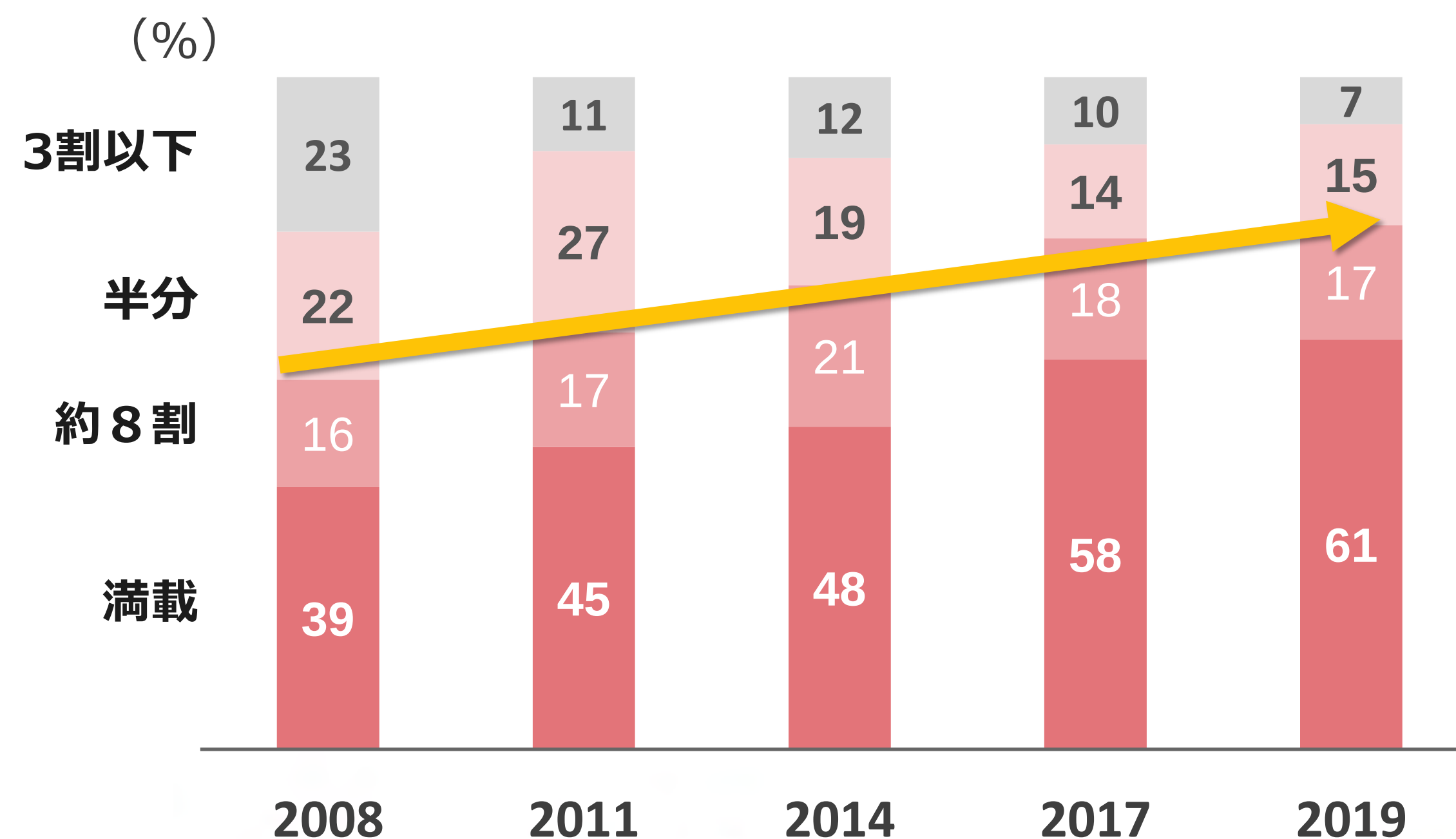
■ 小口配送や1台当たりの積載量も増加

小口配送数量推移



出典：国土交通省

1台当たりの積載量推移（配送業）

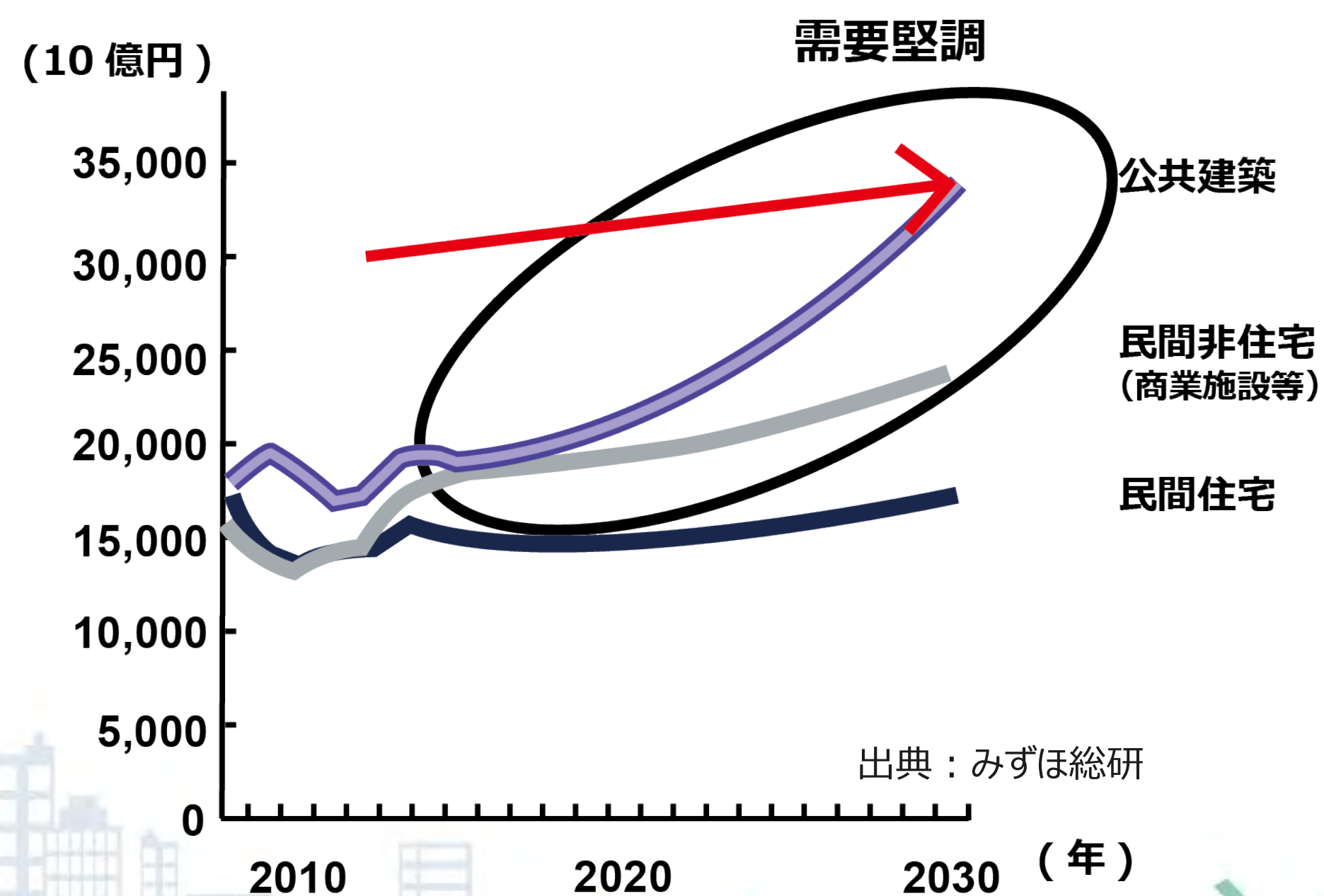


※ダイハツ調べ

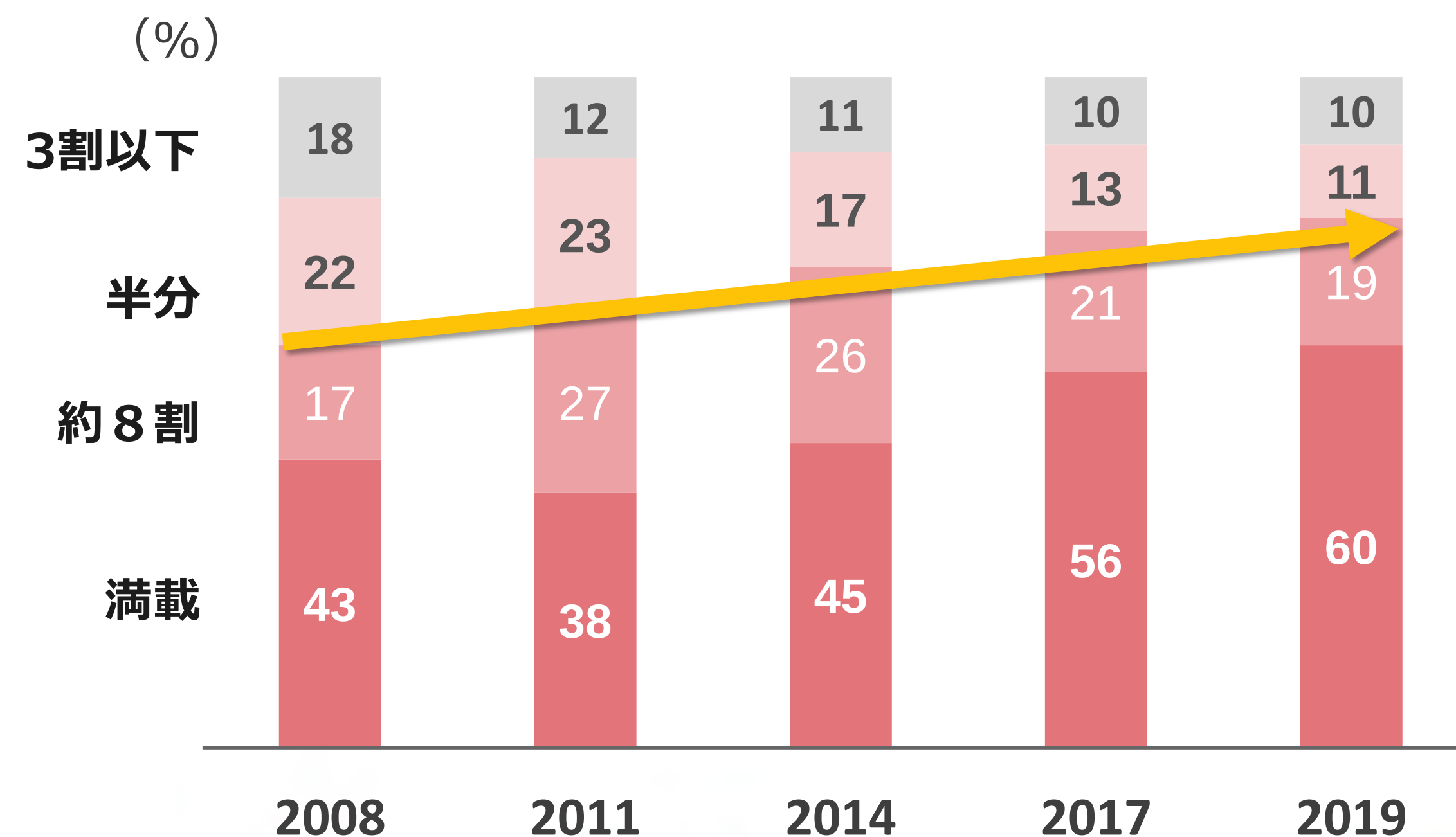


建設需要増や人手不足により、 一人当たりに求められる役割が増え、使用する工具や資材も増加

建設需要の変化



1台当たりの積載量推移（建設業）



※ダイハツ調べ

現地現物で様々なお客様の使い方やご要望を聞き込み





3 車種同時進化

Light you up

働き手の多様化や使われ方の変化に対応すべく大幅商品強化



新型「ハイゼット カーゴ」

効率 極めた
活力カーゴ



新「ハイゼット トラック」

たさいトラック
(多載、多才、多彩)



新型「アトレー」

使い尽くせる
マルチBOX

INDEX

▶ 開発のねらい

▶ 商品概要

I 共通の進化（商用DNGA）

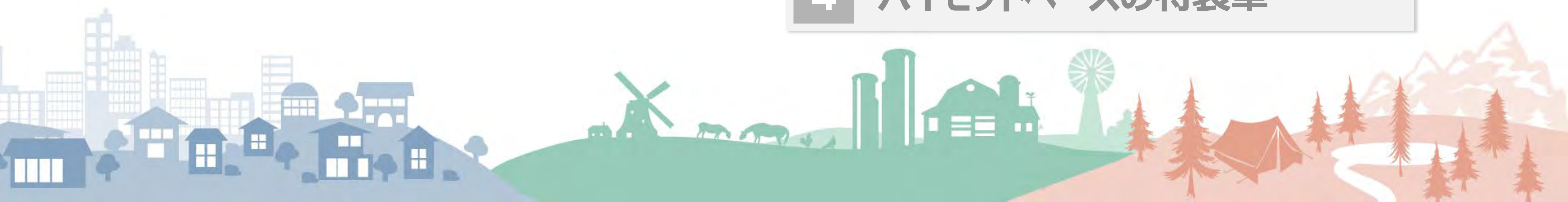
II 各車種の進化

1 新型ハイゼット カーゴ

2 新ハイゼットトラック

3 新型アトレー

4 ハイゼットベースの特装車





DNGAの考え方

良品廉価

最小単位を
極める

先進技術を
みんなのものに

商用DNGAの考え方

- 商用車は毎日の仕事や生活で使う「相棒」的存在



全ての働く方々にとって、
「安全・安心・心地よく」働くことができる



見て

分かりやすく
機能的なデザイン

触って

操作しやすく
自然に使える機能

乗って

疲れにくく
運転しやすい走り

「基本性能（燃費・走り）」「安全性能」「使い勝手の良さ」に徹底的にこだわって進化

HIJET
C A R G O



ATRAI



HIJET
T R U C K



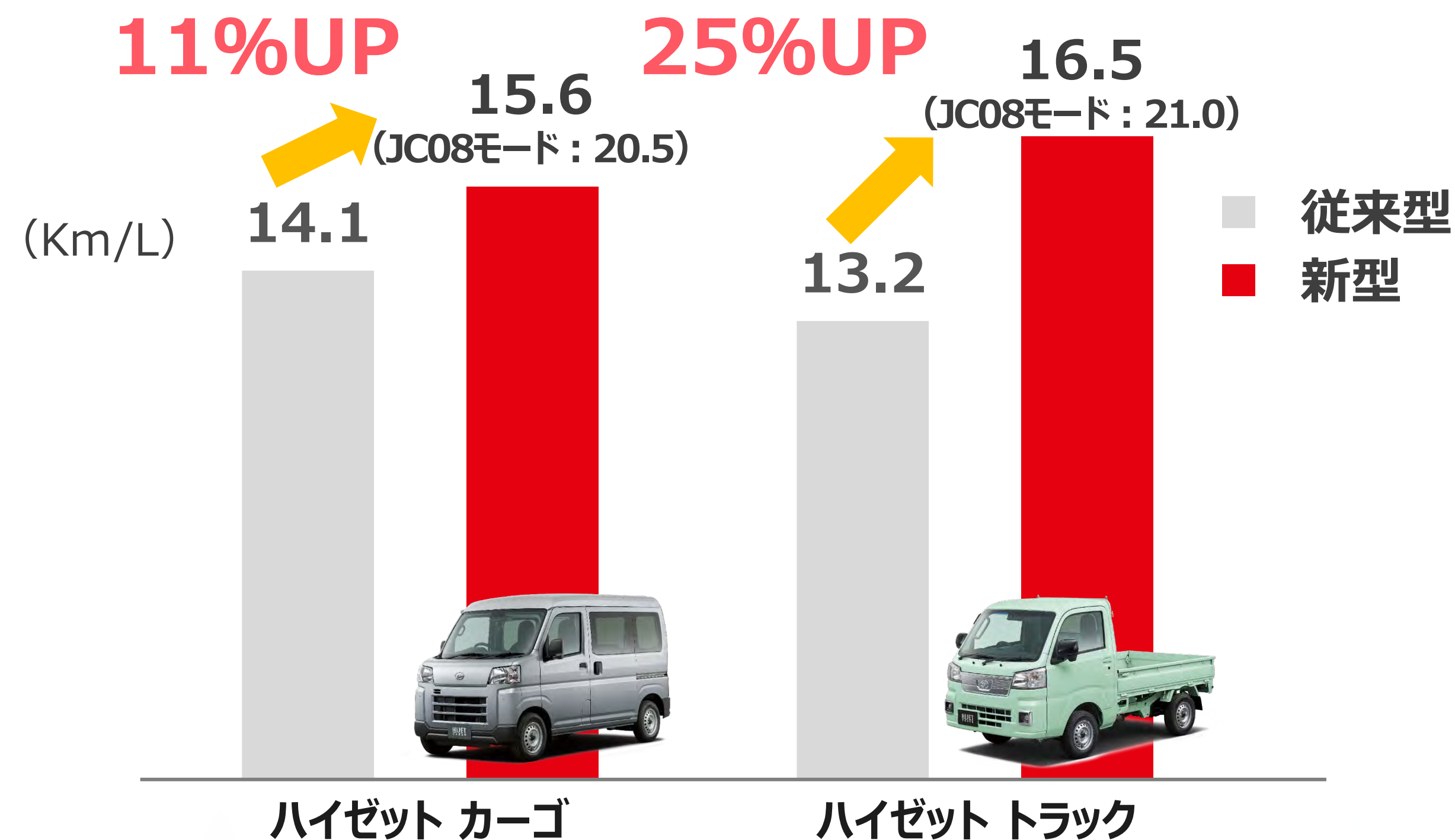
17年ぶりにプラットフォームを一新

パワートレインを刷新



誰でも運転しやすい新開発FR用CVTを採用 クラストップレベル※¹の燃費性能を実現

新開発のFR用CVT



軽キャブオーバー（FR車）初※²

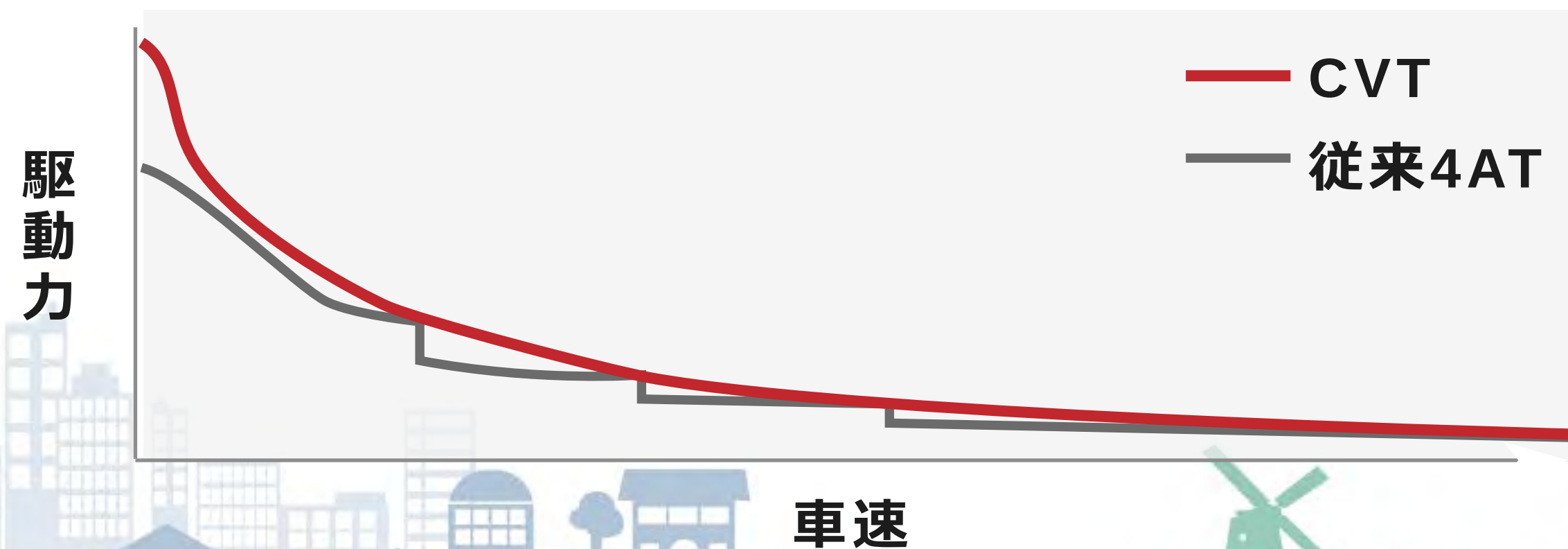
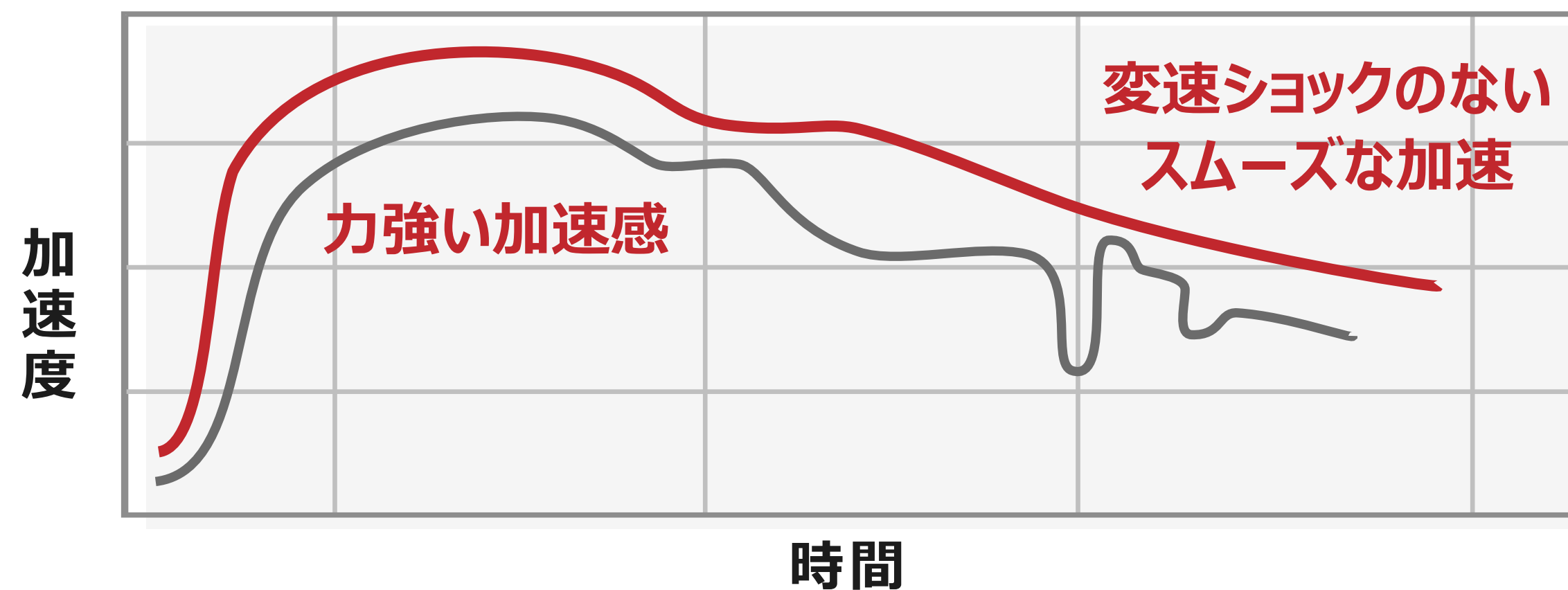
いち早く商用CAFE規制へ対応

※¹:2021年12月現在、ダイハツ調べ。燃費はWLTCモード（2WD/CVT・AT/NA）。国土交通省審査値。他社にも同数値の車があります
 ※²:2021年12月現在、ダイハツ調べ。他社にも同時に初採用のクルマがあります



スムーズな発進や高い静粛性を実現し、運転中のストレスを低減

発進加速イメージ



上り坂でもスイスイ進める

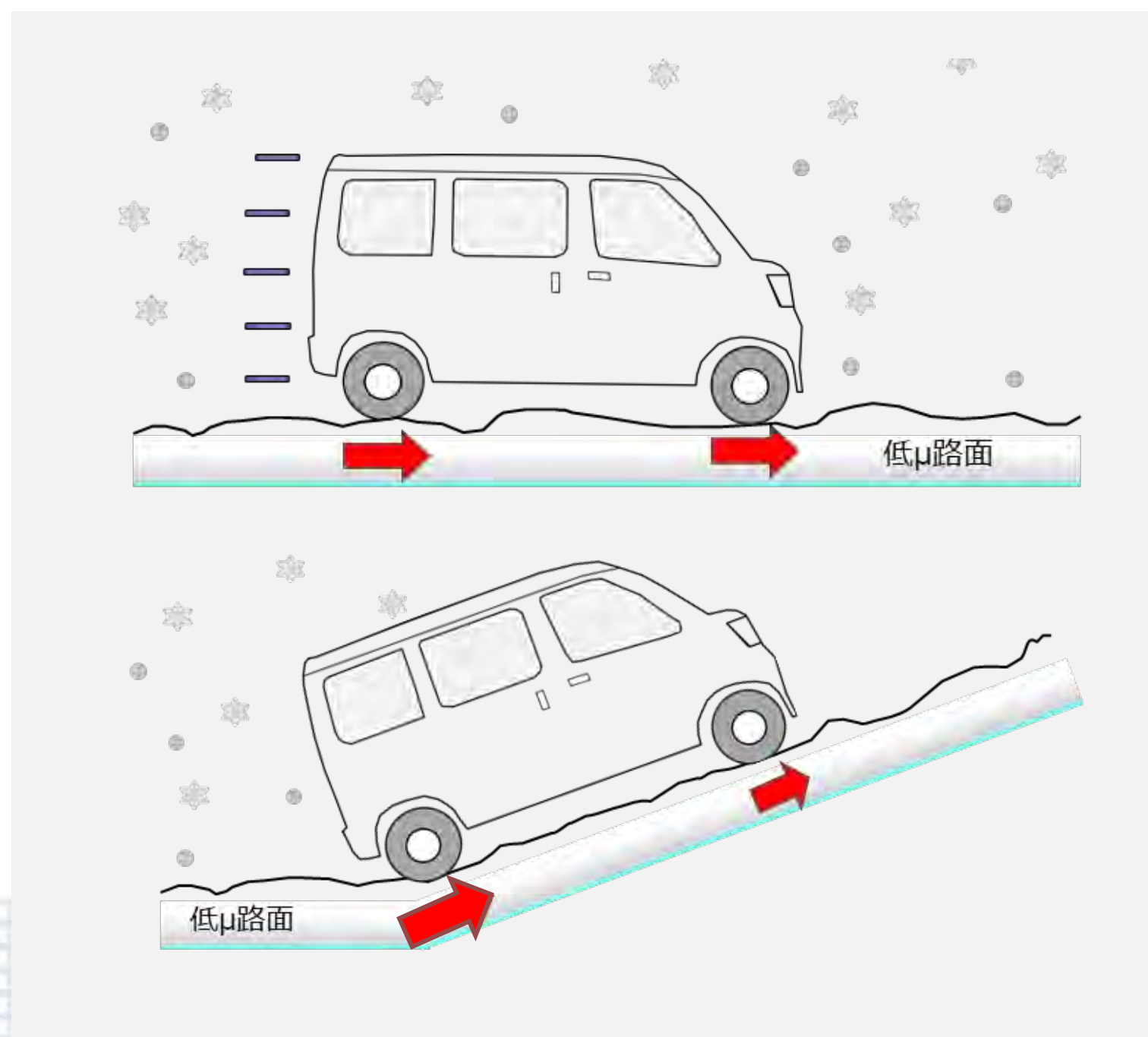


悪路や雪道でも安心な電子制御式4WDをCVT車に採用 ハイゼットトラックCVT車にはスーパーデフロックを採用

電子制御式4WD

クラス初※1

路面状況に応じて前後輪に最適なトルク配分



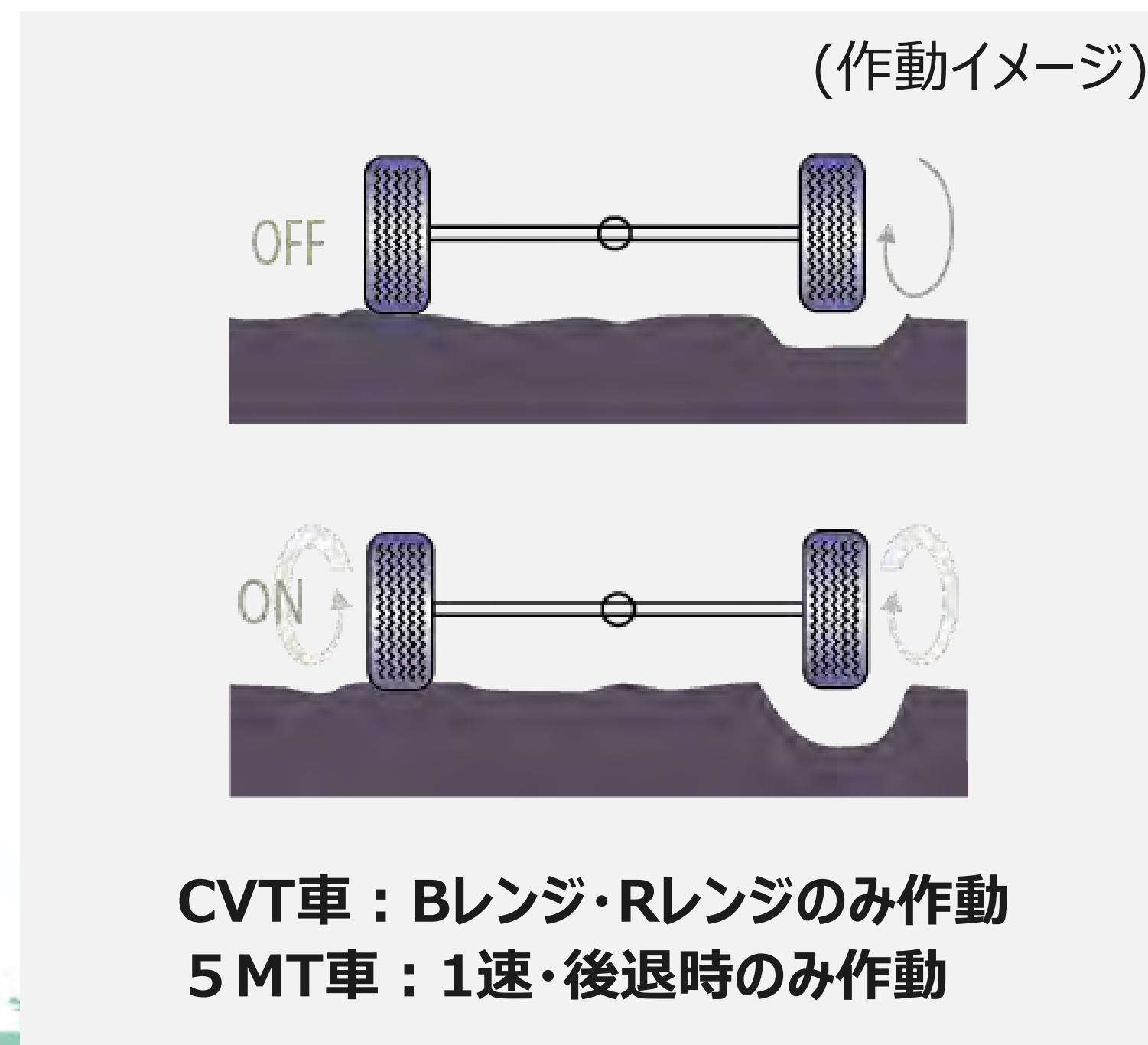
スーパーデフロック

軽キャブトラック
(CVT車) 初※2

ぬかるみ脱出も容易



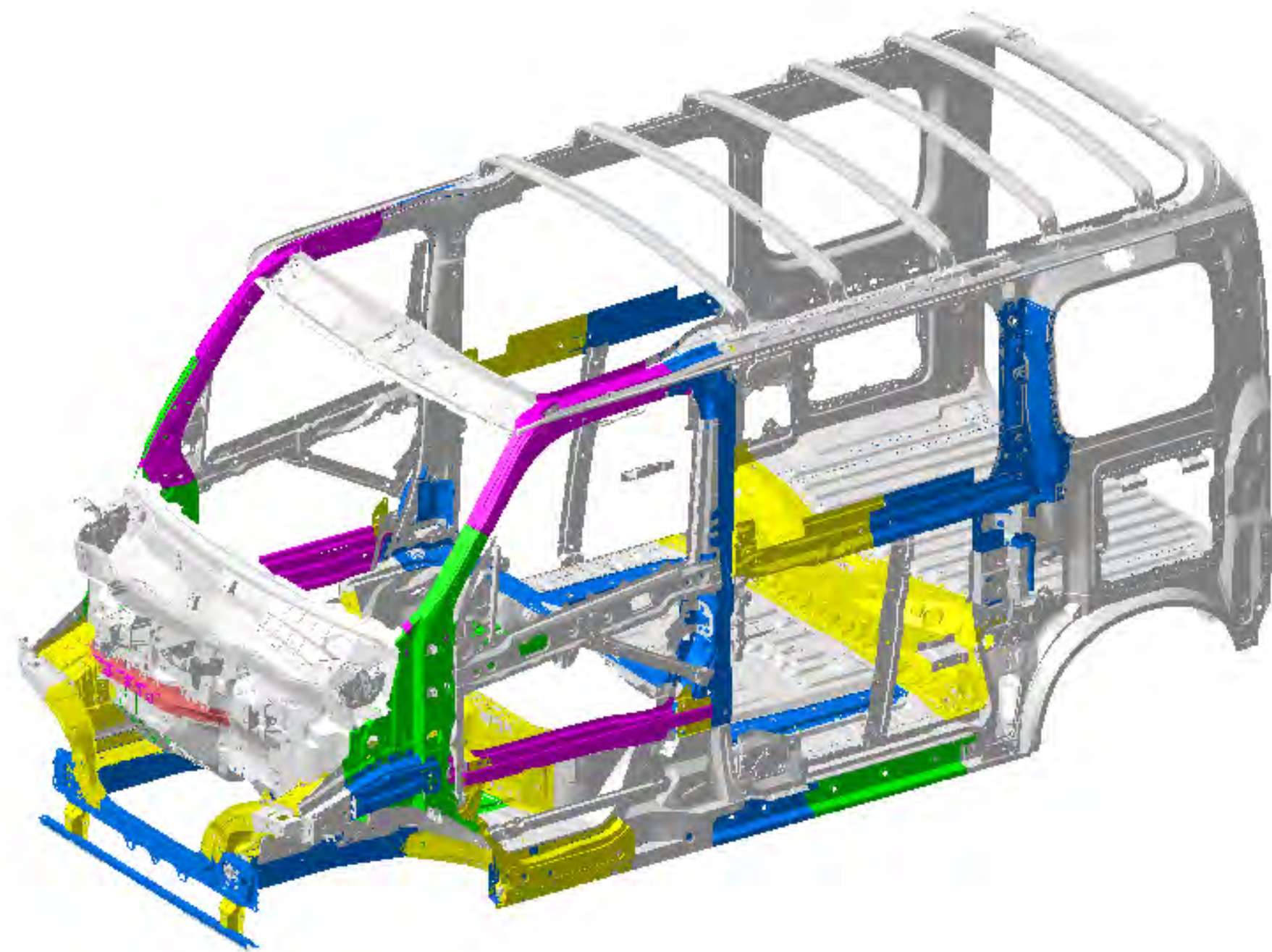
切替スイッチ



※1:軽CV、軽CTとして初。他社にも同時に初採用のクルマがあります。2021年12月現在、ダイハツ調べ
※2:2021年12月現在、ダイハツ調べ。他社にも同時に初採用の車があります



**ボディ構造は軽量化や剛性向上を実現
「まっすぐ走って」「思い通りに曲がり」「乗り心地」を向上したサスペンション**



毎日使われる商用車だからこそ、運転のしやすさや疲れにくさを追求



最新のステレオカメラを使った予防安全機能「スマートアシスト」で 安全・安心性能も進化

全13※機能を搭載

衝突回避支援



認識支援



駐車支援



アトレーはさらに全車速追従機能付ACC・LKCを搭載

※スマートアシストの機能は車種/グレードによって異なります (一部はメーカーオプション)



衝突回避支援機能が進化し、夜間の歩行者にも対応 誤発進抑制機能（前・後方）にはブレーキ制御を追加





後方視界を確保するスマートインナーミラーを採用

クラス初※

荷物満載時



鏡面モード

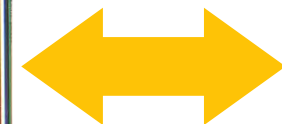


デジタルモード

夜間走行時



鏡面モード（夜間）



デジタルモード（夜間）



スマートインナーミラー
カメラ部



バックカメラとも連動

※軽CV、軽CTとして初。他社にも同時に初採用の車があります。2021年12月現在、ダイハツ調べ

INDEX

▶ 開発のねらい

▶ 商品概要

I 共通の進化（商用DNGA）

II 各車種の進化



1 新型ハイゼット カーゴ

2 新ハイゼット トラック

3 新型アトレー

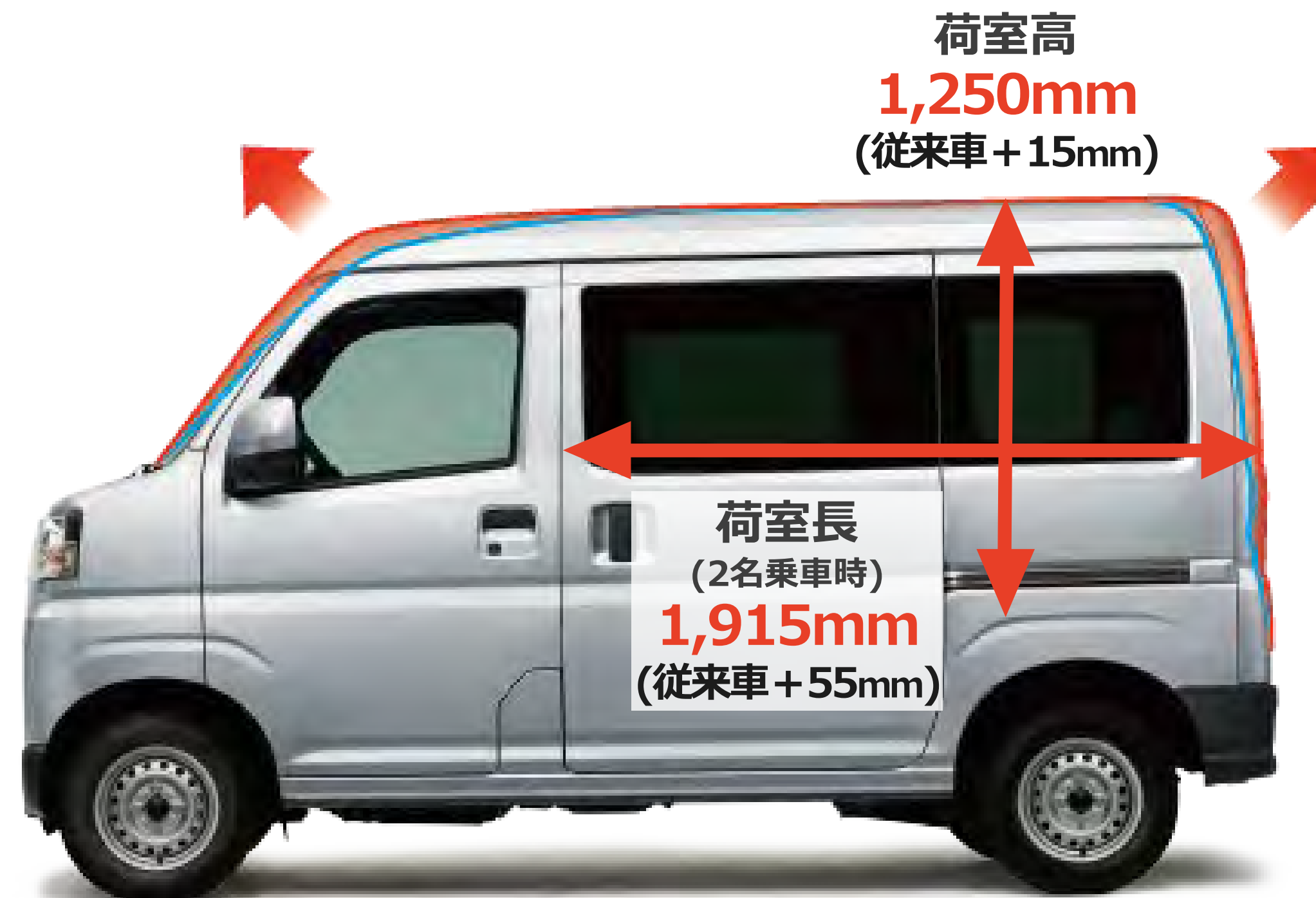
4 ハイゼットベースの特装車



車体のスクエア化により、クラス最大※の積載スペースを実現 多くの荷物を効率的に積みたいお客様のニーズにお応え



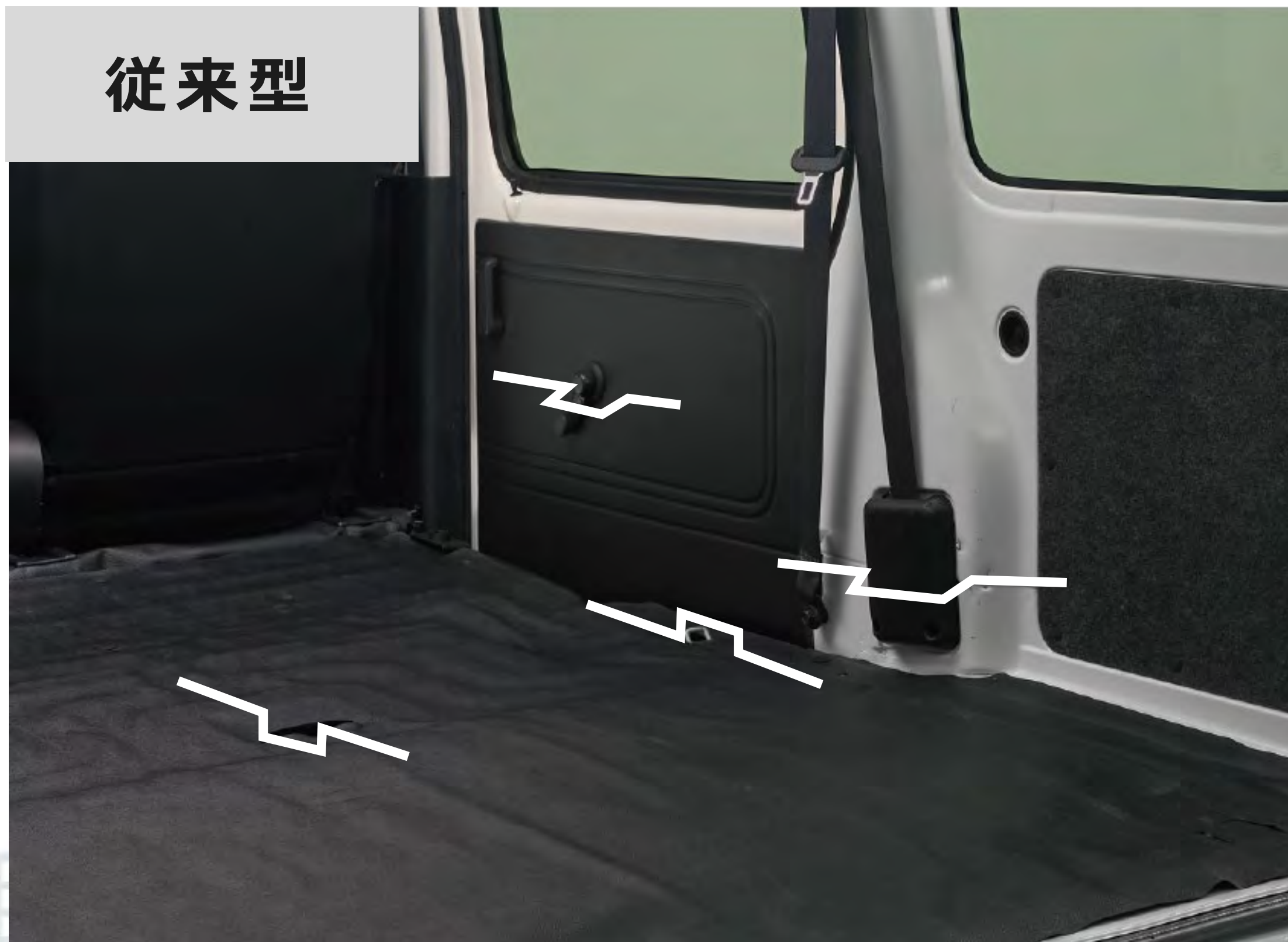
一回で荷物を
全て積みたい
(配送業)



※軽CVとして、荷室長/荷室幅（4名乗車時）/荷室高で最大。
2021年12月現在、ダイハツ調べ（社内測定値）。他社にも同数値の車があります

凹凸のないフラットな床面・側面により、荷物を積みやすく、傷つけにくい構造へ

従来型



新型



金具等の凹凸がなくなりフラットに

多様なお客様の使用用途に対応し、アレンジしやすい荷室を実現



棚を作るなど
道具を整理したい
(建設業)



荷室ナット数を2倍に増加



荷室上部



デッキサイド



● 全グレード共通
● デラックス/スペシャルのみ

お客様の生の声を反映した収納スペースや、力の弱い方にも使いやすい快適装備を採用



書類などを整理整頓したい

収納スペース



簡単にドアを開け閉めしたい

快適装備

■ パワースライドドア※1

クラス初※2



■ キーフリーシステム & プッシュボタンスタート※1

クラス初※2



※1:標準装備のグレードと一部メーカーオプションのグレードがあります

※2:軽CVとして初。2021年12月現在、ダイハツ調べ。他社にも同時に初採用の車があります

シンプルで力強い内外装デザインと全7色の豊富なカラーバリエーション

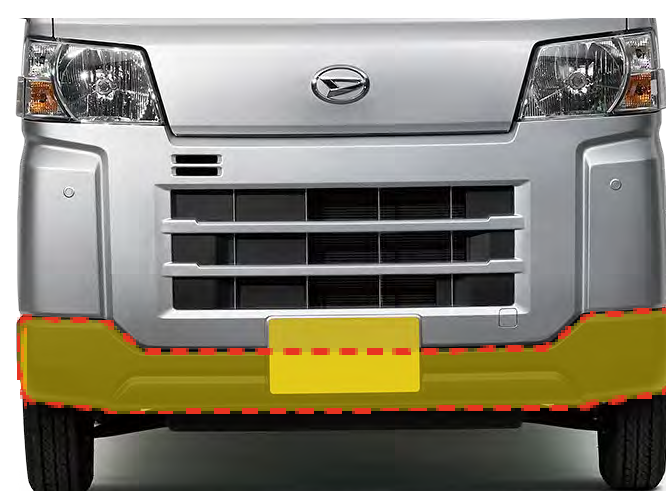
傷が付いていると印象が悪いので
気軽に修理したい（小売業/運輸業）



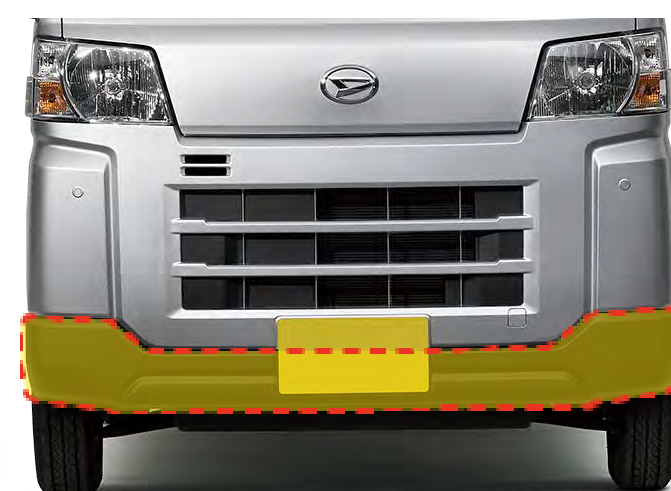
上下2分割で交換可能な経済的なバンパー



スペシャルクリーン
/スペシャル(材着)



デラックス(材着)



クルーズターボ/クルーズ
(ボディ同色)

※グレードによって仕様が異なります



ブライトシルバーメタリック
<S28>



ホワイト
<W19>



アイスグリーン
<G62>※



トニコオレンジメタリック
<R71>※



シャイニングホワイトパール
<W25>※



ブラックマイカメタリック
<X07>※



オフビートカーキメタリック
<G55>※

※メーカーオプション。オフビートカーキメタリックはデッキバンGのみに設定

建設業等のお客様に好評なダイハツ独自商品※のデッキバン 広々空間で使い勝手の良いフレンドシップシリーズ（福祉車両）

ハイゼット デッキバン



汚れた荷物やかさ張るものも積載可能

ハイゼット スローパー



車いすの足元スペースも広々
低床フロアで乗降しやすい

※オープンデッキの4人乗り軽自動車として。2021年12月現在、ダイハツ調べ

ハイゼット カーゴ



※写真はデラックス

1,045,000～1,606,000円

ハイゼット デッキバン



※写真はデッキバンG

1,320,000～1,705,000円

ハイゼットスローパー



1,685,000～1,825,000円

メーカー希望小売価格（消費税込み）
※ハイゼットスローパーは消費税非課税

INDEX

▶ 開発のねらい

▶ 商品概要

I 共通の進化（商用DNGA）

II 各車種の進化



1 新型ハイゼット カーゴ

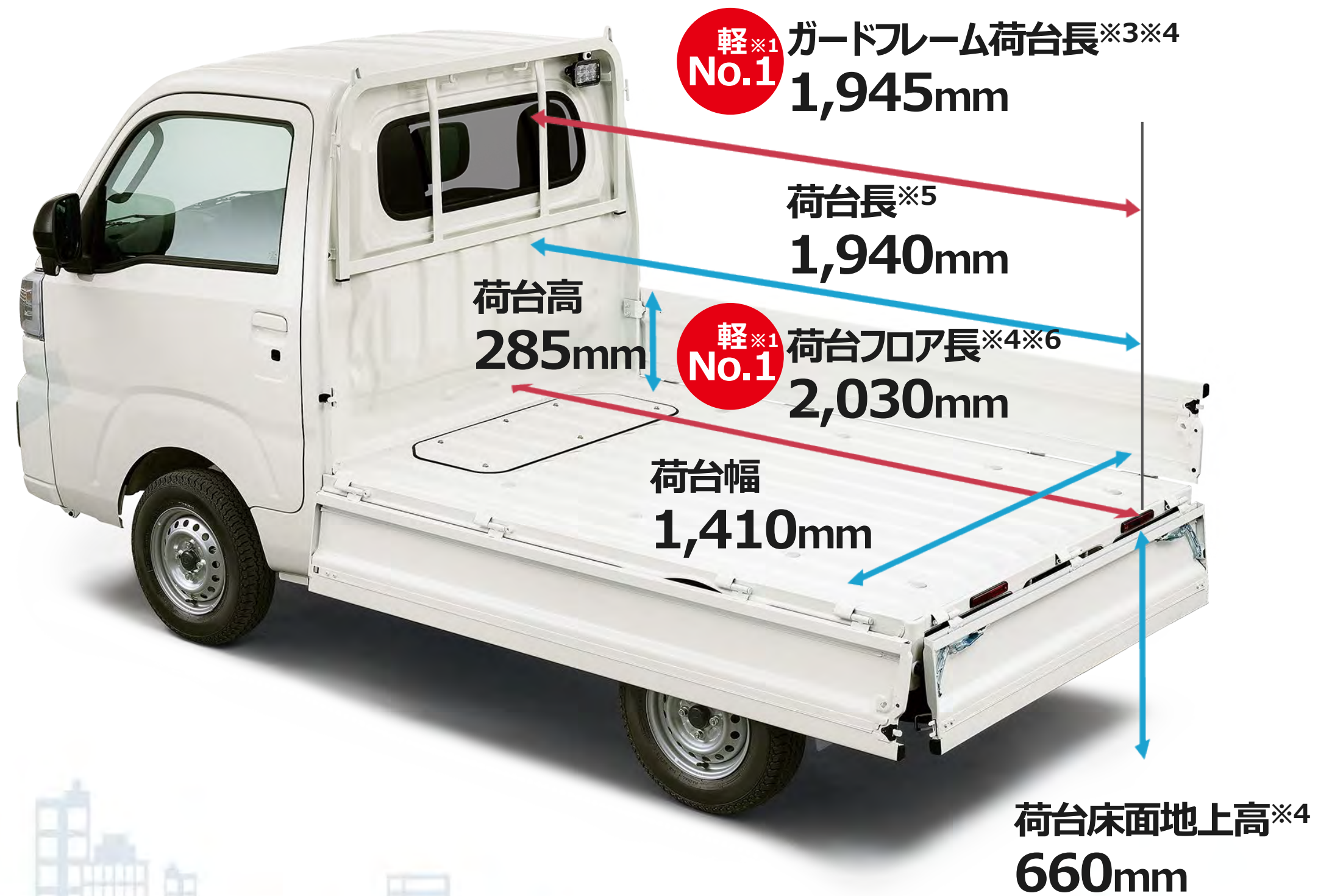
2 新ハイゼットトラック

3 新型アトレー

4 ハイゼットベースの特装車



軽トラックNo.1※¹の荷台フロア長、LED大型荷台作業灯※²を採用



夜間でも安全に荷物を積みたい

クラス初※⁷



※¹:2021年12月現在。軽CTとしてNo.1。ダイハツ調べ。他社にも同数値の車があります

※²:標準装備のグレードと一部メーカーオプションのグレードがあります

※³:ガードフレームからテールゲートまでの荷台の長さ。ジャンボは1,670mm

※⁴:社内測定値 ※⁵:ジャンボは1,650mm ※⁶:ジャンボは1,990mm ※⁷:軽CTとして初。2021年12月現在、ダイハツ調べ

お客様の声を反映した豊富な収納スペースや、使い勝手の良い快適装備を採用



日常使いする際、狭い駐車場では
ドアミラーを畳みたい

室内空間収納スペース



汚れた手でもドアを簡単に
開け閉めしたい



快適装備

電動格納式
カラードドアミラー※1

クラス初※2



キーフリーシステム &
プッシュボタンスタート※1

クラス初※2



※1: 標準装備のグレードと一部メーカーオプションのグレードがあります

※2: 軽CTとして初。2021年12月現在、ダイハツ調べ。他社にも同時に初採用の車があります

シンプルで力強いデザインと全7色の豊富なカラーバリエーション



ホワイト
<W19>



ブライツシルバーメタリック
<S28>



オフビートカーキメタリック
<G55>※



アイスグリーン
<G62>※



トニコオレンジメタリック
<R71>※



ファイヤークオーツレッドメタリック
<R67>※



ブラックマイカメタリック
<X07>※

※メーカーオプション。ファイヤークオーツレッドメタリックはジャンボ エクストラのみに設定

ゆとりある室内スペースが好評のハイゼット ジャンボ ハイゼットトラック販売の約20%を占めるまで成長



広い車内で快適に運転したい

新設定のスタンダードグレード



荷物置き等に最適なスペース



※社内測定値

ハイゼット トラック



※写真はエクストラ



※写真はジャンボ エクストラ

902,000～ 1,452,000円

メーカー希望小売価格（消費税込み）

INDEX

▶ 開発のねらい

▶ 商品概要

I 共通の進化（商用DNGA）

II 各車種の進化



1 新型ハイゼット カーゴ

2 新ハイゼットトラック

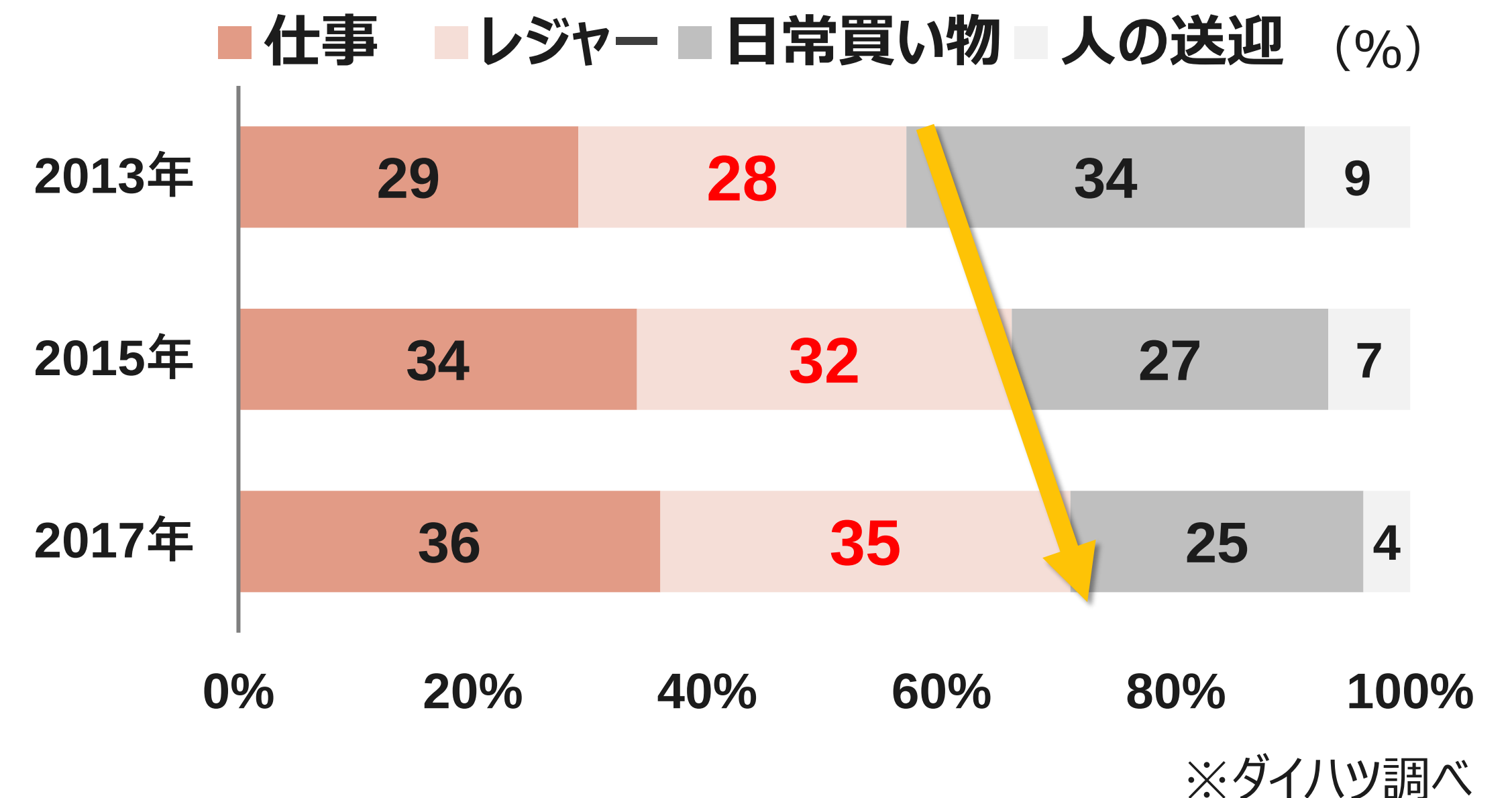
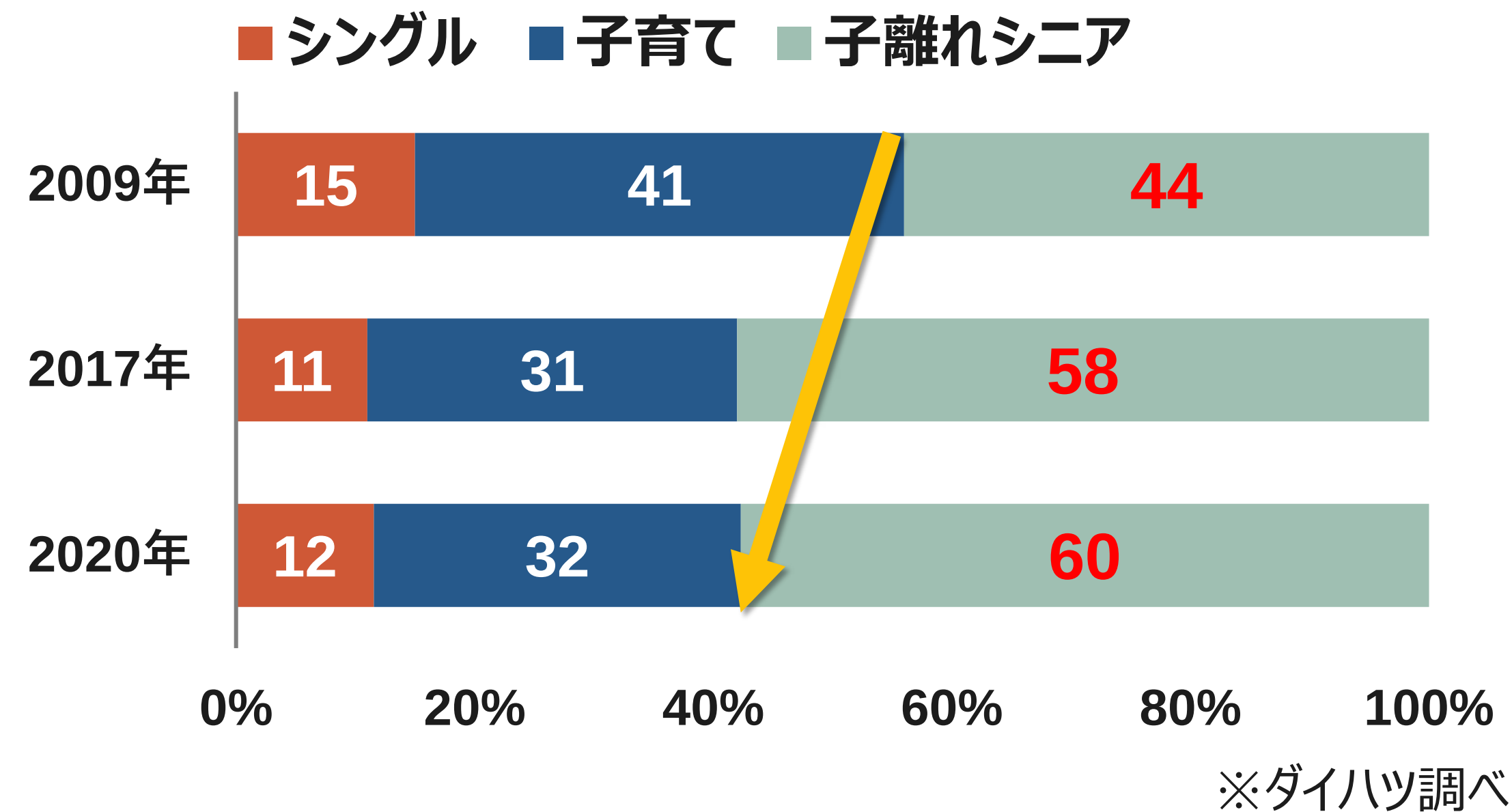
3 新型アトレー

4 ハイゼットベースの特装車



子離れシニアユーザーが増えると同時に、レジャー用途も増加

軽キャブワゴン・軽乗用バン ライフステージ推移/軽キャブワゴン用途の変化



キャブオーバーのパッケージングを最大限生かし
レジャーを中心とした新しいニーズに対応

レジャー等の新しいニーズに対応するため、 広い居住・荷室空間と、最大350kgの積載量を実現

荷室幅（4名乗車）
1,410mm※1※3

ラゲージルーム容量
1,275L※1※2

荷室高
1,215mm※1※3

荷室長
1,820mm※1※3

バックドア開口幅
1,310mm※1※3

レジャー用品などの
重い荷物も積載可能



※1:アトレデッキバンは異なります
※2:アトレデッキバンを除く全車の最大荷室容量。VDA方式によるダイハツ測定値
※3:社内測定値

フラットな荷室スペースと様々なシーンで活躍するアトレーならではの装備

水平格納式リヤシートを採用



荷室に机を取り付けたい



■ ポップアップ機構付リヤガラス

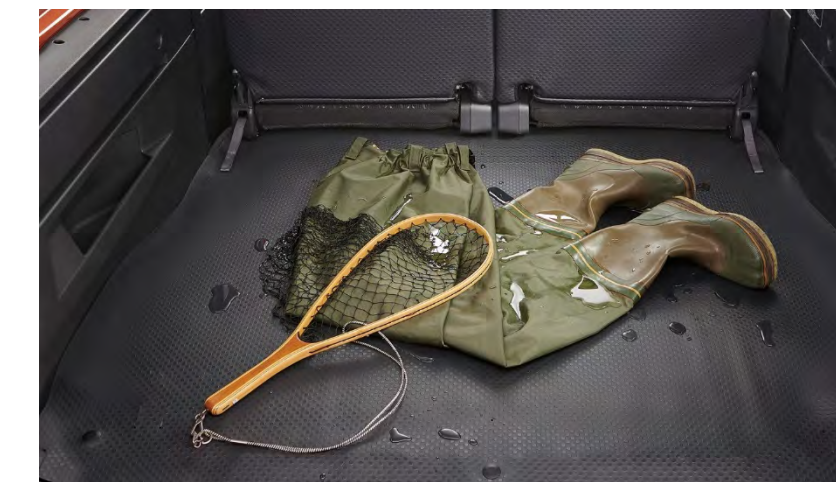


■ テーブル固定可能なデッキサイドトリム※

汚れても簡単に掃除したい



■ マルチフック



■ イージーケアマット

※RS、Xに標準装備

乗降時に便利な快適装備をクラス初※¹採用 遠出でも快適な運転負荷軽減機能を採用

快適装備



- イージークローザー・
両側パワースライドドア※²
(ウェルカムオープン機能付)

クラス初※¹

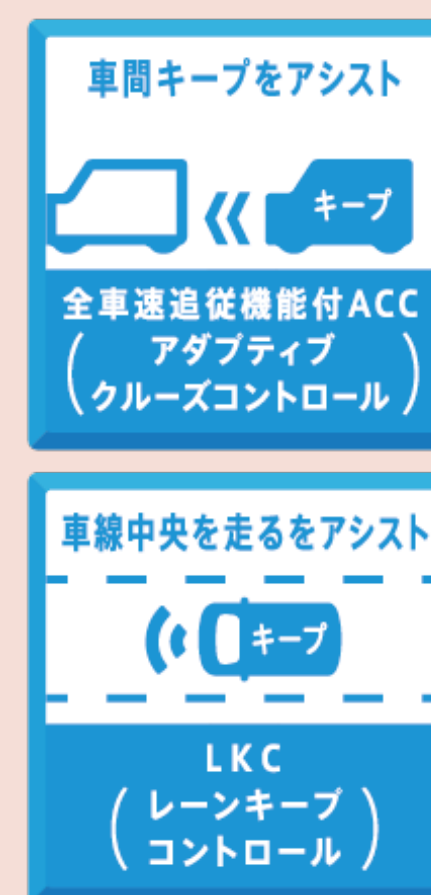
- キーフリーシステム&プッシュボタンスタート※² **クラス初※¹**



予防安全機能「スマートアシスト」

「全車速追従機能付きACC」
「LKC」を採用

運転負荷軽減



※¹:軽CV（1BOX型軽商用車）として初。2021年12月現在、ダイハツ調べ。他社にも同時に初採用の車があります

※²:RS、アトレーデッキバンに標準装備

メッキ加飾などで質感にこだわった内外装デザインと 全6色のカラーバリエーション



NEW!



トニコオレンジメタリック
<R71>



レーザーブルークリсталシャイン
<B82>※



ブライトシルバーメタリック
<S28>

NEW!



オフビートカーキメタリック
<G55>



ブラックマイカメタリック
<X07>

NEW!



シャイニングホワイトパール
<W25>※

※メーカーオプション

アトレーにもデッキバンを初設定し、多彩なバリエーションを実現

アトレー



※写真はRS

1,562,000～1,826,000円

アトレーデッキバン



1,914,000～2,068,000円

アトレスローパー



2,060,000～2,200,000円

メーカー希望小売価格（消費税込み）

※アトレスローパーは消費税非課税

INDEX

▶ 開発のねらい

▶ 商品概要

I 共通の進化（商用DNGA）

II 各車種の進化



1 新型ハイゼット カーゴ

2 新ハイゼットトラック

3 新型アトレー

4 ハイゼットベースの特装車





ハイゼットベースの特装車

豊富な特装車ラインナップにより、お客様のニーズにきめ細やかに対応



ダンプシリーズ

■ 多目的ダンプ



土砂
禁止

■ ローダンプ



土砂
禁止

■ 土砂ダンプ



土砂
OK

■ 清掃ダンプ



土砂
禁止



リフトシリーズ

■ 垂直式テールリフト



■ コンパクトテールリフト



保冷・冷凍シリーズ

■ カラーアルミ中温冷凍車



-5℃

■ FRP中温冷凍車



-5℃

■ カラーアルミ低温冷凍車



-20℃

■ カラーアルミ保冷車



■ FRP保冷車



配送シリーズ

■ デッキバン



■ アトレーデッキバン



■ パネルバン



■ カーゴセパレート2シーター



■ カーゴ 2シーター



■ カーゴ 2シータークリーン



全4シリーズ・13機種（17種類）の豊富なバリエーション

全ラインナップを国内工場一貫生産化し
ベース車両同様の品質で、お客様へ明確な納車時期をお伝え可能に

ベース車生産



架装部品組付



検査・保証

ベース車生産から架装組付、検査まで一貫して実施



Light
you
up

